



ふくほうのシンボルマーク

グリーンの中は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

The Fukuho Bank, Ltd.

発行／平成21年12月
編集／株式会社 福邦銀行 企画部
〒910-0023 福井市順化1-6-9
TEL／0776-21-2500(代表)
<http://www.fukuho.co.jp>

第102期 営業の中間ご報告 [中間ミニ・ディスクロージャー誌]

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで





平成21年12月

取締役頭取 三田村俊文

日頃は福邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。株主の皆様、並びにお取引先の皆様をはじめ地元のお客様には、多大なるご支援とご理解をいただいておりますこと心から厚くお礼申し上げます。

このたび当行の経営方針や業績の概要などをまとめました第102期営業の中間ご報告〔中間ミニ・ディスクロージャー誌〕を作成いたしましたので、ご高覧賜れば幸いです。

平成21年9月期中間決算は、海外経済の減速などから大幅に悪化していた景気は公共投資の増加や輸出・生産の増加により持ち直しの動きが見られましたものの、雇用・所得の面では厳しい状況が続きました。福井県内の景況も依然と厳しく、一部に政策効果から持ち直しの兆しが見られましたものの、売り上げ減少や価格低下により企業収益の減益傾向は強まり、雇用・消費とも一段と厳しさを増しました。

このような環境下、当行グループは経営強化計画「お客様感動への挑戦」に基づく諸施策を確実に実践するため役職員一体となって積極的に業務に取り組んでまいりました。

引き続き「地域社会への貢献」を経営理念に、中小規模事業者および個人のお客様に対する円滑な資金供給や各種サービスの提供を通じて地域金融機関としての使命を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール (平成21年9月末現在/単体ベース)

名称	株式会社福邦銀行 THE FUKUHO BANK,LTD.
本店所在地	福井市順化1丁目6番9号
創立	昭和18年11月5日
資本金	73億円
総資産	4,471億円
預金	4,211億円
貸出金	3,334億円
自己資本比率	9.49% (国内基準)
店舗数	41カ店
従業員数	626名

もくじ

ごあいさつ、プロフィール	1
経営強化計画、経営理念	2
業績ハイライト	3
地元中小企業のお客様に対する金融の円滑化への取り組み	5
地域密着型金融の推進	6
金融サービスの向上	7
地域の皆様とともに	9
経営強化計画について	10
第102期中間連結財務諸表	11
第102期中間財務諸表	12
株式のご案内、株主優待について	13
店舗一覧、お問い合わせ先一覧	14

お客様感動への挑戦

目指す銀行像 お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行

基本方針 独自性とスピードによる経営強化

運動指針 {C.S.} 運動の推進=お客様との接点重視とフォローアップ

{C.S.} 運動とは お客様と多くの接点を持ち、相談される存在となり、しかも速やかに問題を解決して満足していただく運動
Customer Contact Consultation Speed Solution Satisfaction
{C.S.} は「C」と「S」の集まり
CS〔お客様満足〕(Customer's Satisfaction)

重点課題

「収益力の強化」

- 全員営業による中小企業・個人取引の拡充
- 顧客接点の増強と商品・サービス提供力の強化
- 業務の抜本的な見直しによる業務の効率化
- 経営効率化と収益管理の強化

「組織力の発揮」

- 全体最適を目指した仕組みづくり
- 組織・制度の改革と人材育成
- スピードを持って行動するシステムの構築

「ガバナンス態勢の強化」

- コンプライアンス態勢の強化
- リスク管理の高度化
- 内部統制態勢の堅確化

「財務基盤の安定化」

- ◆ 自己資本の充実による財務基盤の強化
- ◆ トップライン収益とボトム収益の強化
- ◆ 与信コストの安定化

経営理念

地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全なる経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心

信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

和の心

お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

進取の心

変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

共存共栄の心

お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

業績ハイライト

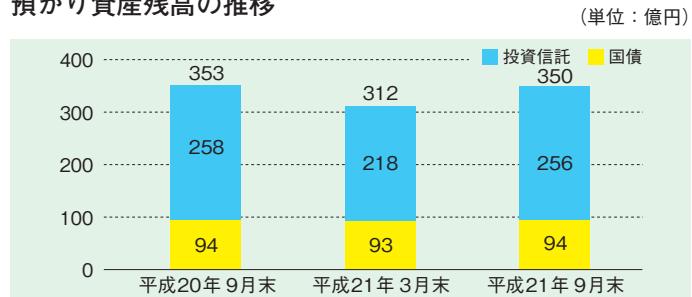
預金等の状況（単体）

預金は、法人預金および公金預金が増加したことから、平成21年3月末比37億円増加の4,211億円となりました。預かり資産は、金融市場の回復により投資信託が増加し、350億円となりました。

預金残高の推移



預かり資産残高の推移



貸出金の状況（単体）

貸出金は、消費者ローンおよび事業性貸出が減少したことから、平成21年3月末比60億円減少の3,334億円となりました。

貸出金残高の推移



住宅ローン残高・件数の推移



(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円）以下の会社または常用する従業員が300人（ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人）以下の会社および個人です。

損益の状況（単体）

経常収益は、有価証券関係収益が増加した結果、前年同期比5億52百万円増加の60億24百万円となりました。銀行本業部分の収益を示すコア業務純益は、経費の削減および役務取引等利益の増加により前年同期比61百万円増加し7億44百万円となりました。経常利益は、業務純益が増加したものの、大口の債権取立不能および遅延が発生したこと、および地域経済の今後の動向を見据えて取引先企業の業況変化に対処し引当金の積み増しを実施したこと等により、前年同期比2億37百万円減少し△3億43百万円の損失となりました。中間純利益は、店舗の減損処理と、繰延税金資産を一部取崩した結果、△6億30百万円の純損失となりました。

用語解説（コア業務純益）

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因（債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額）を差し引いたものです。

コア業務純益

	(単位：百万円)
平成20年9月末	683
平成21年3月末	1,414
平成21年9月末	744

経常利益

	(単位：百万円)
平成20年9月末	△ 106
平成21年3月末	△ 918
平成21年9月末	△ 343

中間（当期）純利益

	(単位：百万円)
平成20年9月末	△ 601
平成21年3月末	△ 2,002
平成21年9月末	△ 630

自己資本比率の状況（国内基準）

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられております。平成21年9月末のリスク・アセット（万一の場合、貸倒れの危険性のある資産）に対する自己資本の額は銀行単体192億円、連結は197億円、自己資本比率は単体9.49%、連結9.74%、Tier1比率では単体8.48%、連結8.73%となっております。経営強化計画の諸方策の確実な実践により、内部留保を積み上げてまいります。

(単体)



(連結)

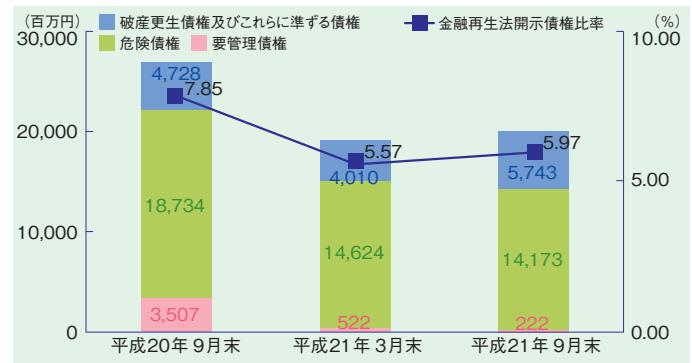


不良債権の状況

当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成21年9月末の金融再生法開示債権は平成21年3月末比9億円増加して201億円となりました。

なお、金融再生法開示債権201億円には、担保・保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当てしている部分も含まれております。開示債権に対する保全額は190億円、保全率は94.47%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

金融再生法に基づく開示債権額、比率



	(単位：百万円)		
	平成20年9月末	平成21年3月末	平成21年9月末
金融再生法開示債権合計	26,970	19,157	20,139
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,728	4,010	5,743
危険債権	18,734	14,624	14,173
要管理債権	3,507	522	222
保全額	23,156	17,663	19,027
貸倒引当金	8,218	6,533	7,475
担保保証等	14,937	11,129	11,552
総与信残高（未残）	343,503	343,745	337,173

地元中小企業のお客様に対する金融の円滑化への取り組み

当行は、地域金融機関として地域密着型金融を推進し、地元中小企業の皆様に対する円滑で適正な信用供与を通じて地元経済の発展に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- 事業者ローン「勇士3000」や「ふくほうプライムサポート」、ABL（資産担保貸出、動産・流動資産を活用した融資手法）、機械設備を担保とした「機械担保ローン」などの取り扱いによる担保・保証に過度に依存しない融資推進
- 行員の目利き能力（融資審査能力）向上のため中小企業診断士やFP技能士など人材育成
- 法人営業部による情報収集や資金需要に対するご相談やご提案
- 法人営業役席のきめ細やかな金融サービス提供によるサポート
- 中小企業融資推進室等による本部サポート体制の整備
- 財団法人ふくい産業支援センターと連携した移動経営相談会の実施
- 地元大学との連携を強化し、大学が保有する技術情報と地元企業のマッチングに関する支援
- 企業経営支援室による経営改善活動のサポート
- ビジネス商談会の開催によるビジネスチャンス創出
- 「福邦銀行ビジネスマッチング情報交換制度」や「第二地銀加盟行ビジネスマッチング情報交換制度（愛称：B-net）」によるビジネスマッチングのサポート
- 中小企業経営診断システム（MSS）を利用したふくほう財務診断サービスの実施
- 事業性融資や住宅ローンに関する相談等に「緊急融資相談窓口」設置

6000先訪問運動

ご融資先との関係強化と新たなご融資先への訪問運動として全店で6000先訪問運動に取り組んでおります。

ふくほう財務診断サービスのご案内

中小企業のお客様の企業経営支援の一環として「中小企業経営診断システム（MSS）」を利用した簡易な診断サービスを開始いたしました。ご利用料は無料です。くわしいサービスにつきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお申し付けください。

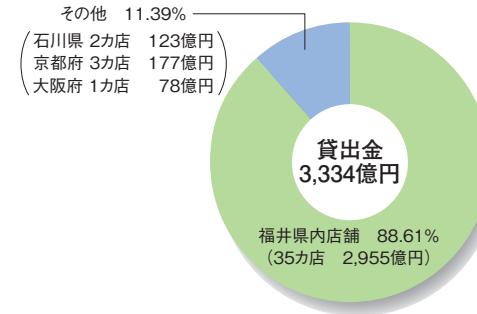
※なお、財務診断の結果は、融資の審査の判定に用いるものではなく、あくまでお客様の財務状況の把握、経営改善に活用していただくことを目的としたものです。また、数値は絶対的なものではなく、ひとつの目安としてください。



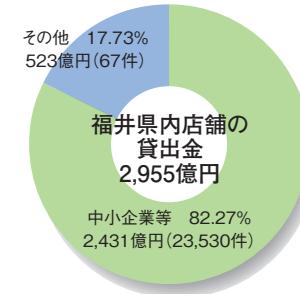
移動経営相談会

地域の皆様へのご融資

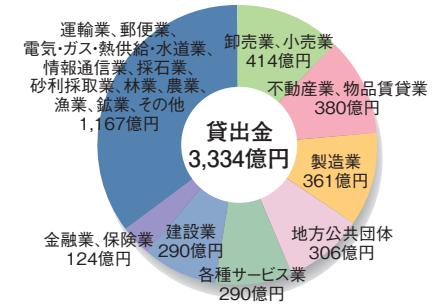
店舗所在地別の貸出金状況（単体） （平成21年9月末現在）



福井県内店舗の貸出金に占める 中小企業等貸出金の状況（単体） （平成21年9月末現在）



業種別貸出金の状況（単体） （平成21年9月末現在）



地域密着型金融の推進

当行では創業来、お客様との間で長く続いた親密な関係を強化・維持し、ニーズに応じた金融サービスを提供する地域密着型金融の推進を基本としております。平成20年4月からは「地域密着型金融推進計画」を中期経営計画と一体化し恒久的な取り組みとして推進してまいりました。平成21年4月からは経営強化計画と一体化して積極的に推進しております。

大項目毎の取り組み状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の一層の強化
 - 創業、新事業支援
 - ふくい産業支援センターおよび地元大学との連携による強化
 - 経営改善支援
 - 企業経営支援室による取引先の経営改善支援
 - 事業再生支援の強化
 - 中小企業再生支援協議会を活用した取引先の事業再生支援
 - 事業継承支援
 - 外部機関との提携強化により、事業承継・M&A等の取引先ニーズに即したコンサルティング営業の取り組み推進
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
 - 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資への取り組み
 - 財務内容を重視した融資への取り組み
 - 不動産以外の資産を活用した融資への取り組み
 - 「目利き機能」の発揮に向けた取り組み
 - 研修による企業に対する「目利き力」の育成
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
 - 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた同時的・一体的な「面」的再生への取り組み
 - ビジネス商談会の実施、当行ネットワークの活用によるビジネスマッチング業務（企業支援）の推進
 - 地域活性化につながる多様なサービスの提供
 - ソリューション営業の強化と地域における金融知識の普及
 - 地域貢献への取り組み推進
 - 「子育て応援バンク」の取り組み推進



ふくほうビジネス商談会

「お客様感謝デー」の開催

日頃のご愛顧に感謝し「お客様感謝デー」を開催いたしました（各営業店が企画に工夫を凝らし、平成21年6月から8月の任意日に実施）。



地元の野菜などを進呈

親しまれる店舗を目指して

今春新築した社支店（福井市測）は、ご融資や投資信託・保険商品などのご相談を承る資産相談専用コーナーとして、プライバシーに配慮したローカウンターとコンサルティングコーナーを備えております。また大型テレビと無料ドリンクコーナーを設置し、くつろぎ感に工夫しております。

平成21年5月、武生支店と敦賀支店を店舗改装いたしました。地域の皆様に親しまれる明るい店舗づくりを目指しております。



社支店のコンサルティングコーナーとドリンクコーナー

多機能プラザ（愛称：ゆめプラザ）

＜ゆめプラザ四ッ居＞

ゆめプラザ四ッ居には、ゆっくりおくつろぎいただけるご相談コーナーや小さなお子様用スペースを設置しております。ご来店だけでなくお客様のところに専門スタッフが出向いてご相談を承る活動にも力を入れ、地域のお客様の幅広いご要望にきめ細かくお応えしております。

取扱業務：住宅ローンや教育ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、個人年金保険、年金お受け取りに関するご相談・アドバイス業務など
住所：福井市北四ッ居3-15-66
フリーダイヤル：0120-683-294
営業時間：平日 9：00～19：00（毎週水曜日定休）
土・日・祝日 10：00～17：00



ゆめプラザ四ッ居

＜ゆめプラザ福井駅前・武生北・敦賀西＞

ゆめプラザ福井駅前・武生北・敦賀西を7月にオープンいたしました。ローン全般、投資信託等のほか中小企業のお客様への融資や経営改善についての相談・アドバイス業務を行っております。ご相談用テレビ会議システムを備えております。

営業時間：平日10：00～17：00（銀行窓口休業日を除きます）

カードローンBESPA（ベスパ）

お客様の様々な資金ニーズに対応するため使いみちが自由な個人向けローン商品「ふくほうカードローン『BESPA（ベスパ）』」を取扱っております。

ATMネットワークの充実

お客様の利便性向上を目指し、ATMネットワークの充実に取り組んでおります。当行のキャッシュカードは全国のジャスコ・マックスバリュなどに設置されているイオン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（出金のみ）。

コンビニATMではセブン銀行とATM利用提携し、全国のセブン-イレブンなどに設置されているセブン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（入出金）。そのほかローン、ファミリーマート、サークルK、サンクスなどに設置されている各ATMもご利用になれます（利用手数料がかかります）。

環境への配慮

お客様の環境配慮への対応を金融面から応援する取り組みを行っております。行内においても温室効果ガスの排出削減を目指す国民運動「チーム・マイナス6%」に参加し、クールビズなどに取り組んでおります。

＜環境に配慮した商品・サービス等＞

- LPガス住宅ローン
- オール電化住宅ローン
- マイカーローンの金利割引サービスにエコカー購入を対象条件に設定
- 事業性融資「ふくほうプライムサポート」の金利割引サービスにISO14001またはエコアクション21認証取得を対象条件に設定
- エコクロス通帳の導入、ほか



「お客様の声」にお応えして

金融サービス向上を目指し毎年9月、「お客様の声」アンケートを実施しております。お寄せいただいたご意見やご要望をもとに平成21年度上期は主に次のような取り組みを行いました。

- 音声ガイダンス機能が付いたATMを順次増設しております（平成21年10月31日現在19台）。
- ATMにおいてキャッシュカードによる引出しと通帳記帳が同時にできるようにいたしました（平成21年9月）。
- ATMを利用して総合口座の定期預金のお預け入れができるようにいたしました。取扱い開始を記念して金利上乘せキャンペーンを実施しております（一部のATMを除きます）。

キャンペーン実施期間：平成21年5月11日から平成21年12月31日まで



改装した武生支店のロビー



ATMの取引画面

※商品・サービスの詳細につきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

地域の皆様とともに

「福井県応援ファンド」の取扱い

福井県に関連する企業の株式に投資し地元経済の発展を応援する投資信託商品「福井県応援ファンド」を取扱っております。

信託報酬の一部から毎年、日本赤十字社福井県支部の活動資金として寄附を行っております。平成21年2月には寄附金205万円を贈呈し、累計では712万円となりました。



子育て応援バンクの取り組み

少子化問題に対応するためCSR活動の一環として「子育て応援バンク」を宣言し、地域のお客様の子育てを金融面から応援する取り組みを行っております。

住宅ローン子育て金利割引制度、子育て応援定期、子育て応援に積極的な企業のお客様向け事業性融資商品の金利割引の取扱いのほか、金融経済教育「親子マネー教室」の開催にも取り組んでおります。

「お金の大切さ」をテーマに、行員手づくり創作童話「ゆめたろうとドーナツやさん」を制作いたしました（平成21年11月）。当行ホームページでご覧になれます。

なお、当行は福井県が推進する「子育て応援プラスワン宣言企業」、福井市が推進する「子育てファミリー応援企業」に登録しております。



子育て応援バンクのマーク



創作童話の一場面

福邦カップ争奪ゲートボール大会の開催

地域のお客様の交流や健康づくりにお役立ていただくため平成21年7月から11月にかけて「第2回福邦カップ争奪ゲートボール大会」を開催いたしました。



約1,100名のご参加をいただきました

コミュニケーションボードの設置

耳の不自由な方や外国人の方などのお客様に、ご希望の取引や手続きをスムーズに行っていただけるよう全国銀行協会作成の「コミュニケーションボード」を店頭へ設置しております。記号や文字を指し示してご利用になれます。



コミュニケーションボードの一部

女性プロジェクトチームTiaraの取り組み

地域のお客様の満足度向上とワーク・ライフバランスなどを目的とした女性プロジェクトチームTiara（ティアラ）が活動しております。

経営強化計画について

目標とする経営指標

平成21年3月に公表いたしました経営強化計画における目標とする経営指標の進捗状況は次のとおりです。引き続き同計画に基づいた様々な施策に積極的に取り組んでまいります。

【コア業務純益ROA】 (単位：百万円、%)

項目	20年9月期	計画始期	21年3月期			
			計画	実績	計画対比	計画始期対比
コア業務純益	683	1,213	1,382	1,414	32	201
総資産平均残高	460,371	455,909	454,200	455,744	1,544	△165
コア業務純益ROA	0.29	0.26	0.30	0.31	+0.01	+0.05

※コア業務純益ROA = コア業務純益 ÷ 総資産平均残高

【業務粗利益経費率】 (単位：百万円、%)

項目	20年9月期	計画始期	21年3月期			
			計画	実績	計画対比	計画始期対比
経費（機械化関連費用を除く）	2,876	5,592	5,589	5,575	△14	△17
業務粗利益	3,689	7,181	7,658	7,356	△302	175
業務粗利益経費率	77.96	77.87	72.98	75.79	+2.81	△2.08

※業務粗利益経費率 = 経費（機械化関連費用を除く） ÷ 業務粗利益

【中小規模事業者等向け信用供与の残高、比率】 (単位：百万円、%)

項目	20年9月期実績 (計画始期)	21年3月期			
		計画	実績	計画対比	計画始期対比
中小規模事業者等向け貸出残高	163,993	164,000	164,255	255	262
総資産（末残）	454,887	450,549	442,230	△8,319	△12,657
中小規模事業者等向け貸出比率	36.05	36.40	37.14	0.74	1.09

※中小規模事業者等向け貸出比率 = 中小規模事業者等向け貸出残高 ÷ 総資産

※中小規模事業者等向け貸出とは銀行法施行規則別表第一における「中小企業等」から個人事業者以外の個人を除いた先に対する貸出で、かつ次の貸出を除外したもの。政府系出資主要法人向け貸出及び特殊法人向け貸出、土地開発公社向け貸出等、大企業が保有する各種債権又は動産・不動産の流動化スキームに係るSPC向け貸出等、その他金融機能強化法の趣旨に反するような貸出

【経営改善等支援取組率（地域経済への活性化への貢献の状況を示す指標）】 (単位：先、%)

項目	20年9月期実績 (計画始期)	21年3月期			
		計画	実績	計画対比	計画始期対比
創業・新事業開拓支援	14	16	10	△6	△4
経営相談・早期事業再生支援	76	90	111	21	35
事業承継支援	1	1	1	0	0
担保・保証に過度に依存しない融資促進	38	42	17	△25	△21
合計 [経営改善支援等取組数]	129	149	139	△10	10
取引先	4,748	4,630	4,587	△43	△161
経営改善支援等取組率(=経営改善支援等取組数/取引先)	2.71	3.21	3.03	△0.18	0.32

※取引先 = 企業先 + 個人ローン又は住宅ローンのみ先を除く個人事業者で融資残高のある先

経営諮問委員会の開催

当行では、取締役会の諮問機関として経営諮問委員会を設置しております。外部有識者の方から、地域への信用供与の円滑化や地域経済活性化に向けた経営戦略など、客観的な立場で評価および助言・提言をいただきます。助言等は経営に反映することで経営の客観性と透明性を高めてまいります。第1回は平成21年7月に開催いたしました。

第102期中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成21年9月30日現在) (単位: 百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	19,379
コールローン及び買入手形	473
有価証券	90,522
貸出金	334,236
外国為替	511
その他資産	1,782
有形固定資産	5,600
無形固定資産	282
繰延税金資産	1,727
支払承諾見返	2,367
貸倒引当金	△ 9,392
資産の部合計	447,492
(負債の部)	
預金	420,114
その他負債	3,240
賞与引当金	261
退職給付引当金	1,080
役員退職慰労引当金	224
睡眠預金払戻損失引当金	47
利息返還損失引当金	3
偶発損失引当金	92
再評価に係る繰延税金負債	794
支払承諾	2,367
負債の部合計	428,228
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
利益剰余金	4,454
自己株式	△ 204
株主資本合計	17,807
その他有価証券評価差額金	530
土地再評価差額金	924
評価・換算差額等合計	1,455
少数株主持分	1
純資産の部合計	19,264
負債及び純資産の部合計	447,492

中間連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	6,145
資金運用収益	4,499
(うち貸出金利息)	(3,944)
(うち有価証券利息配当金)	(541)
役務取引等収益	678
その他業務収益	365
その他経常収益	601
経常費用	6,382
資金調達費用	626
(うち預金利息)	(620)
役務取引等費用	471
その他業務費用	181
営業経費	3,330
その他経常費用	1,772
経常損失	236
特別利益	0
特別損失	35
税金等調整前中間純損失	272
法人税、住民税及び事業税	18
法人税等調整額	239
法人税等合計	258
少数株主利益	0
中間純損失	530

第102期中間財務諸表 (単体)

中間貸借対照表 (平成21年9月30日現在) (単位: 百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	19,379
コールローン	473
有価証券	90,912
貸出金	333,495
外国為替	511
その他資産	1,473
有形固定資産	5,598
無形固定資産	280
繰延税金資産	1,722
支払承諾見返	2,367
貸倒引当金	△ 9,028
資産の部合計	447,187
(負債の部)	
預金	421,137
その他負債	2,499
未払法人税等	32
リース債務	218
その他の負債	2,248
賞与引当金	250
退職給付引当金	1,080
役員退職慰労引当金	224
睡眠預金払戻損失引当金	47
偶発損失引当金	92
再評価に係る繰延税金負債	794
支払承諾	2,367
負債の部合計	428,494
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
資本準備金	6,256
利益剰余金	3,884
利益準備金	875
その他利益剰余金	3,009
別途積立金	3,000
繰越利益剰余金	9
自己株式	△ 204
株主資本合計	17,236
その他有価証券評価差額金	530
土地再評価差額金	924
評価・換算差額等合計	1,455
純資産の部合計	18,692
負債及び純資産の部合計	447,187

中間損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	6,024
資金運用収益	4,483
(うち貸出金利息)	(3,927)
(うち有価証券利息配当金)	(541)
役務取引等収益	577
その他業務収益	365
その他経常収益	598
経常費用	6,367
資金調達費用	625
(うち預金利息)	(620)
役務取引等費用	449
その他業務費用	181
営業経費	3,305
その他経常費用	1,806
経常損失	343
特別利益	0
特別損失	35
税引前中間純損失	379
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	240
法人税等合計	251
中間純損失	630

株式のご案内

- 事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 株主総会**
定時株主総会は毎年4月1日から3ヵ月以内に招集し、臨時株主総会は、必要があるときにこれを招集いたします。
- 定時株主総会の基準日**
定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。
- 剰余金の配当の基準日**
期末配当の基準日は毎年3月31日といたします。
中間配当を行う場合には、毎年9月30日を基準日といたします。
- 単元株式数**
単元株式数は、1,000株といたします。
- 株式事務取扱場所**
 - 株主名簿管理人
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所
大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
 - 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部（証券代行事務センター）
 - 同取次所
中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
株式会社福邦銀行 本店および各支店
- 公告方法**
福井市において発行する福井新聞に掲載いたします。

株主優待について

平成21年3月31日現在の1単元（1,000株）以上保有の株主に次の株主優待を実施しております。

- ①金利上乘せ定期預金
- ②粗品進呈

店舗一覧

（平成21年10月末現在）

福 井 県			
本松	支店	(0776)21-2500	
幾久	支店	(0776)23-0880	
日の出	支店	(0776)21-2830	
新田塚	支店	(0776)26-2400	
若杉	支店	(0776)23-4011	
堀宮	支店	(0776)35-0700	
成和	支店	(0776)21-5700	
高木	支店	(0776)21-6360	
森田	支店	(0776)53-3500	
花堂	支店	(0776)56-3170	
開発	支店	(0776)34-2190	
春つ	支店	(0776)34-2870	
くし野	支店	(0776)53-6600	
江国	支店	(0776)36-8480	
津	支店	(0776)55-1618	
丸岡	支店	(0776)51-0089	
勝山	支店	(0776)81-3141	
大野	支店	(0776)73-0222	
江明	支店	(0776)66-2010	
神	支店	(0776)61-0063	
	支店	(0779)88-1576	
	支店	(0779)66-3650	
	支店	(0778)51-2870	
	支店	(0778)52-6500	
今 立 支 店 (0778)42-2030			
武生	支店	(0778)24-3210	
村国	支店	(0778)23-9290	
シビイ	支店	(0778)22-8555	
越前	支店	(0778)37-1022	
敦賀	支店	(0770)22-5522	
美浜	支店	(0770)32-1137	
三方	支店	(0770)45-0078	
上中	支店	(0770)62-0031	
小浜	支店	(0770)52-2910	
高浜	支店	(0770)72-1311	
石 川 県			
小松	支店	(0761)22-7373	
金沢	支店	(076)262-0266	
京 都 府			
舞鶴	支店	(0773)75-1290	
東舞鶴	支店	(0773)62-4603	
京都	支店	(075)231-6171	
大 阪 府			
大阪	支店	(06)6352-5051	

お問い合わせ先一覧

お 問 い 合 わ せ 内 容	連 絡 先	受 付 時 間	
WEBバンキング	インターネットバンキングセンター 0120-898-294 (0776)21-2828	平日	9:00～17:00
住宅ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、個人年金保険、年金お受取りのご相談	ゆめプラザ四ッ居 0120-683-294	平日(水曜定休) 土・日・祝日	9:00～19:00 10:00～17:00
ローン申込み、お問い合わせ	コールセンター 0120-687-294	平日	9:00～21:00
キャッシュカード・通帳の紛失	お取引店	平日	8:45～17:00
	自動機監視センター（上記以外） 0120-013-294	365日	24時間
偽造・盗難キャッシュカード被害に関するご相談	お取引店 顧客サービスセンター (0776)25-5127	平日	9:00～17:00
ご意見・ご要望			